

# CentOS7

## ifcfg 設定

NetworkManager ではマルチセッションができないため、NetworkManager を無効にして手動で ifcfg を設定する。

### NetworkManager を無効にする

PIDFILE が被らないように注意する。

## DNS 設定

インターネット側かフレッツ情報サイト側かどちらの DNS を見に行くのか判断するために DNS を立てる。

### DNS サーバーの設定

## ルーティング

フレッツのルーティング情報を元に以下のようなルートを設定する。

```
route add -net 220.210.194.0 netmask 255.255.255.128 dev ppp1
route add -net 123.107.190.0 netmask 255.255.255.0 dev ppp1
```

/etc/ppp/ip-up.local で設定してもいいけど、ppp0 と ppp1 の起動順番が変わらなければ、OS 起動時に指定してもいいような気がする。

# CentOS5

<http://www.yzd.bne.jp/linux/network.html>

<http://www.slash-zero.jp/archives/pc/fedora/229>

## ネットワークの設定ファイル

```
/etc/sysconfig/network      ネットワーク全体
/etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth?   デバイスごとの設定
/etc/host.config            名前解決順
/etc/hosts                  名前対応一覧
/etc/resolv.conf            DNS の指定
```

## マルチセッション

```
ppp0 プロバイダ
ppp1 フレッツスクウェア
```

## とした場合

/etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-ppp1

( 環境によっては /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg- ニックネーム になっていることがある )

```
DEFROUTE=no # デフォルトのルートに設定しない
PIDFILE=/var/run/pppoe-adsl-flets.pid #ppp1 と PIDFILE がダブらないようにする
```

## ルーティング追加

```
route add -net 220.210.0.0 netmask 255.255.0.0 dev ppp1
```

### 注意点

- ・ ルーティングテーブルに指定できるのは、インターフェース名
- ・ ppp 接続は、接続された順にインターフェース名が ppp0、ppp1・・・と振られて行く  
インターフェース名の pppX と ネットワークの設定のデバイス名の pppX は必ずしも一致しない  
ので注意。

例えば、ppp1、ppp0 の順にネットワークデバイスを起動すると、

```
デバイス名 ppp1 の インターフェース名は ppp0  
デバイス名 ppp0 の インターフェース名は ppp1
```

になってしまう。

以下のようなスクリプトで対応

/etc/ppp/ip-up.local

```
#!/bin/sh -e  
  
# Called when ppp connects  
  
IPTABLES="/sbin/iptables"  
iface=$1  
device=$2  
speed=$3  
#local=$4  
local=xxx.yyy.zzz.40/30  
remote=$5  
dev=$6  
  
#echo $1,$2,$3,$4,$5,$6,$7,$8,$9 > /etc/ppp/hoge.txt  
  
# for flet's square  
# check remote=220,210.XXX.XXX  
SUBNET=`echo $remote | cut -d. -f1,2`  
if [ "x$SUBNET" = "x220.210" ] ; then  
    route add -net 220.210.0.0 netmask 255.255.0.0 dev $iface  
    #IPTABLES -t nat -A POSTROUTING -o $iface -s 192.168.0.0/24 -j MASQUERADE  
fi
```

iptables でもこのインターフェース名を使っているときは気を付けること。  
ネットワークの順序通り起動するスクリプトを作るのも手かも。